

令和3年度 第2回 横浜市鶴見区地区センター及び横浜市鶴寿荘指定管理者選定委員会	
日 時	令和3年8月13日（金）13時30分から16時00分まで
開 催 場 所	鶴見区役所 1階予防接種室
出 席 者	峯尾委員長、兼子委員、金子委員、烏田委員、坂田委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開（傍聴者4名）※一部非公開
議 題	横浜市生麦地区センター、横浜市矢向地区センター、横浜市潮田公園コミュニティハウスの指定管理者の候補者の選定について （応募団体によるプレゼンテーション、質疑応答、審査、採点）
決 定 事 項	<p>1 横浜市生麦地区センターの指定管理者の候補者として「特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会」を選定した。</p> <p>2 横浜市矢向地区センターの指定管理者の候補者として「特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会」を選定した。</p> <p>3 横浜市潮田公園コミュニティハウスの指定管理者の候補者として「特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会」を選定した。</p>
議 事	<p>1 定足数及び会議の公開の確認 5名が出席しており委員会が成立している旨、事務局から報告。 第1回委員会での決定のとおり、応募団体によるプレゼンテーションと質疑応答については公開で実施し、その後の審査・採点については非公開で実施する、また応募団体の関係者は他の応募団体のプレゼンテーションと質疑応答を傍聴できないこととする旨、確認。</p> <p>2 指定管理者の候補者の選定について (1) 生麦地区センター ア 応募団体（特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会）によるプレゼンテーション イ 質疑応答 （委員）SDGsの取組については生麦地区センターだけでやっているのか。 （団体）他の施設でも洋服のリサイクルなどの企画を行っている。SDGsと掲げているものでも内容をふまえたものは行っている。 （委員）生麦地区は線路を挟んで地区がわかれているが、線路の向こう側の地区にどのように声掛けをしているか？ （団体）今後、寺尾地区センターとの共催で事業を行って、生麦地区センターを認知してもらうようにしていきたい。 （委員）令和2年度からZoomやスマホ講座を実施されているとのことだが具体的な内容を伺いたい。また、今後の予定についても伺いたい。 （団体）令和2年度に利用者の声を受けて使い方の講座を実施した。ニーズを把握しながら実施していきたい。</p>

- (委員) Zoomを使用した講座やオンライン会議の開催実績はあるのか？
- (団体) 内部会議を実施した。今後 Wi-Fi 環境を整えて講座等を行っていききたい。
- (委員) 自主事業の提案内容にそのような講座が含まれていないが。
- (団体) Zoom に特化はしていないが、PC 講座として記載している。内容についてはニーズを把握しながらやっていきたい。
- (委員) 部屋の稼働率の上昇と収入の増加を提案されていたが、稼働率と利用料金のグラフが一部対応していないのはなぜか。
- (団体) 休館期間部分や減免での利用が影響している。
- (委員) 稼働率が低い部屋の分析をされていたが、利用者を増やすための具体策はあるのか。
- (団体) 男性にターゲットをしぼって料理教室を実施するなどの案がある。和室については、健康マージャンやヨガなどを考えている。余暇コーナーを活用した事業も今後考えていきたい。

(2) 矢向地区センター

ア 応募団体（特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会）によるプレゼンテーション

イ 質疑応答

- (委員) 川崎の市民がかなり利用しているようだが、稼働率がかなり低い。鶴見区民は少ないのでは。
- (団体) 区外の利用者が4割強となっている。川崎市民と鶴見区民が両方メンバーになっている団体やサークルもある。
- (委員) 防災の話が出ていたが、多摩川の土手の決壊を考慮した対策は行っているか？
- (団体) 施設として防災拠点として該当していないので、備蓄の水や食料は少しあるが、そのための準備というは行っていない。ただし、「防災フェア」の意味というのは、避難の制度が変わったことや、100年に1度と言われる規模の災害への対応について、自助・共助の役割をなるべく多くの地域の人に知ってもらうことにあると考えている。
- (委員) 50年ほど前の多摩川の土手の決壊については若い世代は知らない方も多いかと思うので、ぜひ伝えてほしい。
- (団体) 承知した。
- (委員) 矢向地域ケアプラザとの連携について伺いたい。
- (団体) 例えば、地区センターの体育室で健康体操、会議室でミーティングなどの目的で利用してもらっている。現在はコロナ禍でできていないが、3年前までは秋祭りを一緒に行っていた。今年度は代替のものを検討している。
- (委員) 運営協議会の話があったが、年何回開催されているのか。直近の運営協議会ではどのような議題があったのか。
- (団体) 年2回開催している。コロナ禍での対応や事業について色々な意見が出た。

できない中でどのようにやっていくかを検討しようという話をしている。
(委員) 利用促進策の中で『使ってみよう地区センター』キャンペーン』というのがあるが、これは矢向地区センター独自の取組か。

(団体) 独自の取組である。

(3) 潮田公園コミュニティハウス

ア 応募団体（特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会）によるプレゼンテーション

イ 質疑応答

(委員) 鶴見中央コミュニティハウスで本が借りられる取組について、便利だと聞いている。鶴見中央コミュニティハウスに蔵書リストがあるのか。

(団体) 既存の本はリスト化し、新刊本については掲載したチラシを作成している。鶴見中央コミュニティハウスでは 150 名ほどが登録されている。

(委員) HP を拝見すると、横浜市内の図書館の蔵書検索をできるようになっているようだが、鶴見中央コミュニティハウスの蔵書をインターネット検索したり予約したりすることはできるのか。

(団体) 蔵書検索はできるが、予約まではできない。

(委員) 蔵書の受け渡しについて、スタッフは限られているかと思うが、どのように施設間を行き来しているのか。

(団体) 基本的には潮田公園コミュニティハウスのスタッフが取りに行っている。返却本がたまった場合には鶴見中央コミュニティハウスから持ってきてもらうこともある。

(委員) 部屋の稼働率の目標について、最終的に 63% となっている。平成 27 年度は 70% だったようだが、この水準まで戻すつもりはないのか。

(団体) 平成 27 年度以降、稼働率が下がってきてしまっている。ここ最近で年間を通して開館していた平成 30 年度を目標としている。利用団体の人数が少なくなり解散してしまったことなどが理由かと思う。サークル支援などを行って少しでも多くの方に利用してもらえよう取り組んでいる。

(委員) 来年の朝ドラは潮田の辺りが舞台になるようだが、それを利用した人集めなど考えているのか。

(団体) 今のところは検討していない。昨年、沖縄の映画が製作され、施設連携事業で応援をしようと計画していたが、コロナ禍で実現できなかった。

(委員) 潮田公園と共催で魅力的な講座を多くやっていただいている。アイデアはコミュニティハウス、公園のどちらから出されたものなのか。

(団体) 公園も指定管理で運営している。公園としては地域と関わって活動したいという思いがあり、コミュニティハウスとしても新たなものを提供したいという思いがあるので、色々と話し合っている。公園の中でしかできない事業ということで考えながら進めている。

(委員) 利用者増の取組について他の施設では目標を掲げられていたが、潮田公園

コミュニティハウスはいかがか。

(団体) これまで子ども、高齢者、図書を重視してやってきた。今後もそれを土台として新たなものを取り入れられればと考えている。現在はコロナ禍で動きが取りづらいところがあるが、もう少し落ち着いたら発展させていきたい。

ウ 応募団体(特定非営利活動法人ワーカーズコープ)によるプレゼンテーション
エ 質疑応答

(委員) もともと青少年図書館だったため、図書館としての役割が他のコミュニティハウスに比べて非常に大きい。図書館の管理について触れられていなかったようだが、どのように活用していくご予定か。

(団体) 市内でコミュニティハウスを3館運営しており、図書の購入や修繕などのノウハウはある。新刊等を購入してニーズに応じていきたい。

(委員) 新しく指定管理者となった場合に、現在の運営から変えたいところがあれば伺いたい。

(団体) 職員の採用については今働いている方にお声がけをしたい。私たちのやりたいことをやるというのではなく、まず地域の声を聴きたい。自主事業も現在人気のあるものを継続し、少しずつ新しい色を出していきたい。基本的には前法人のよい部分を尊重しつつ、特色のある取組としてまちづくり講座やボランティア講座等を通じて顔の見える地域づくりに力を入れていきたい。

(委員) オンラインの活用について伺いたい。

(団体) ポケット Wi-Fi やタブレットの貸出などを行っていきたい。

(委員) 潮田公園コミハの魅力について

(団体) 蔵書数が多いことが魅力の1つであると考えている。コミュニティハウスの機能を活かしつつ図書に力を入れたい。また、コロナ禍で地域での活動がやりづらくなっている。我々は本町通りで鶴見元気塾を運営しており、教員の方々の連携もしている。そういった事業とも連携しつつ、多世代の方々とつながって運営していきたい。

(3) 団体の財務状況について

「特定非営利活動法人ワーカーズコープ」の財務状況について健全である旨、坂田委員から報告。

(4) 審査結果

ア 生麦地区センター

「特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会」が合計得点で 628 点/775 点を獲得した。最低基準点(465 点)を満たしているため、同団体を指定管理者の候補者として選定する。

	<p>イ 矢向地区センター</p> <p>「特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会」が合計得点で 638 点／775 点を獲得した。最低基準点（465 点）を満たしているため、同団体を指定管理者の候補者として選定する。</p> <p>ウ 潮田公園コミュニティハウス</p> <p>「特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会」が合計得点で 590 点／725 点、「特定非営利活動法人ワーカーズコープ」が合計得点で 519 点／725 点を獲得した。いずれの団体も最低基準点（435 点）を満たしているため、「特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会」を指定管理者の候補者、「特定非営利活動法人ワーカーズコープ」を指定管理者の次点候補者として選定する。</p>
資 料	タイムスケジュール